

第45回

# 中央区政 世論調査

概要版

平成27年5月実施

【調査の項目】

- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 1 定住性   | 7 男女共同参画社会                       |
| 2 防災対策  | 8 防犯対策                           |
| 3 健康診査  | 9 生涯学習                           |
| 4 高齢者施策 | 10 スポーツ                          |
| 5 子育て支援 | 11 2020年東京オリンピック・<br>パラリンピック競技大会 |
| 6 障害者福祉 | 12 施策の要望・評価                      |

【調査対象】中央区に居住する満20歳以上の男女個人  
(外国人区民を除く)

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法

平成27年4月1日現在の住民基本台帳に  
登録された満20歳以上の男女114,519人より  
一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法(郵送配布・郵送回収)

【調査時期】平成27年5月8日(金)～5月25日(月)

【調査機関】株式会社 市川環境アセス

【回収結果】回収数 1,027 回収率 51.4%

CHUO  
CITY

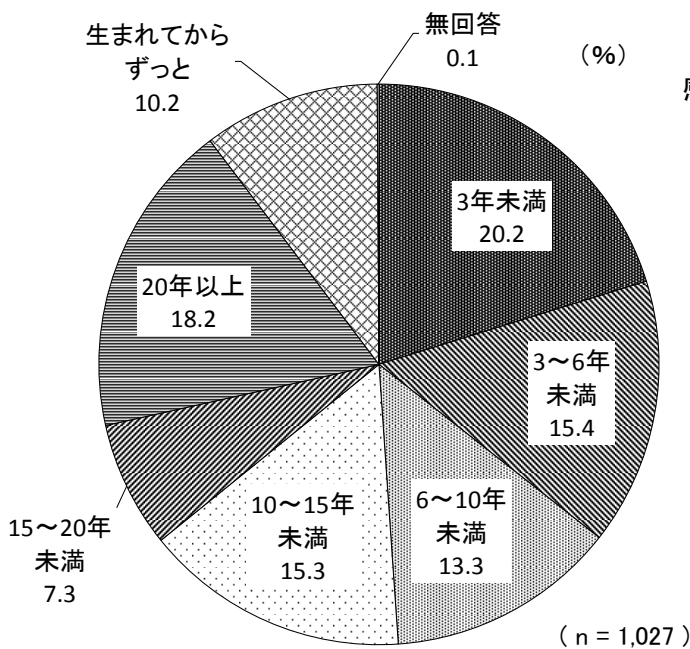


# 1 定住性

## ■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は35.6%で3割台半ばとなっている。『中期居住者』（「6～10年未満」と「10～15年未満」、「15～20年未満」の3つの合計）は35.9%で3割台半ば、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は28.4%で3割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、『短期居住者』は2.4ポイント増加している。

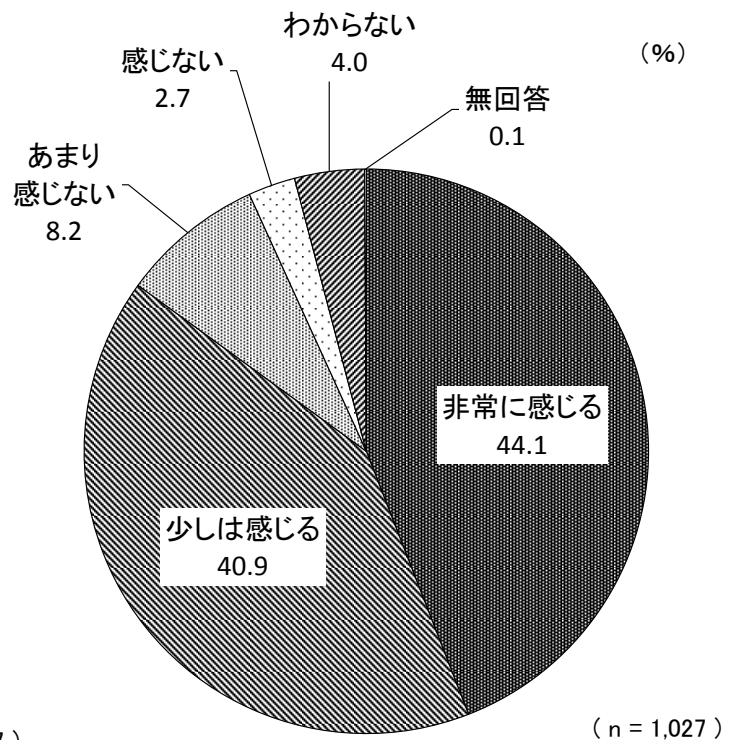


## ■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は85.0%で8割台半ばである。

一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は10.9%にとどまっている。

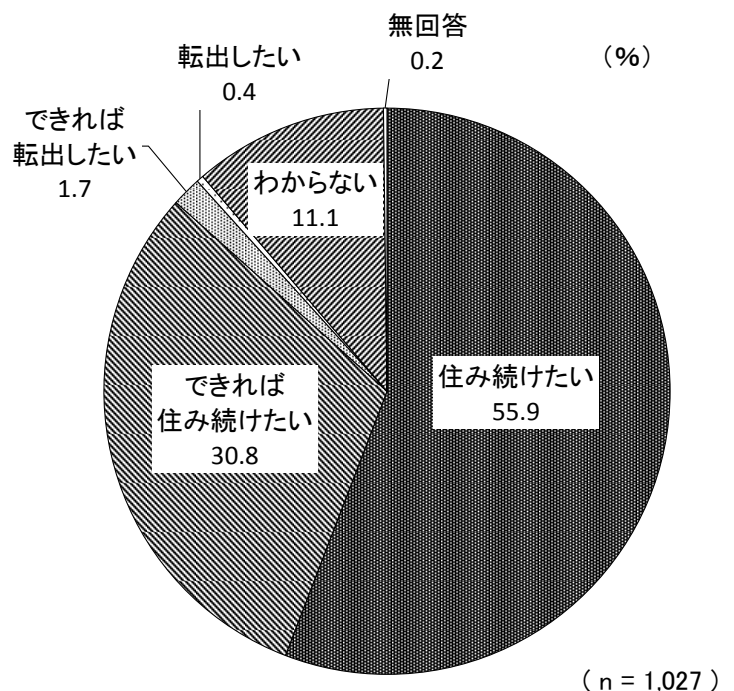
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成18年から継続して8割以上を占めている。



## ■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は86.7%で9割近くとなっている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は2.1%にとどまっている。

昨年の調査結果と比較すると、『定住意向』は、ほぼ同じ割合となっている。

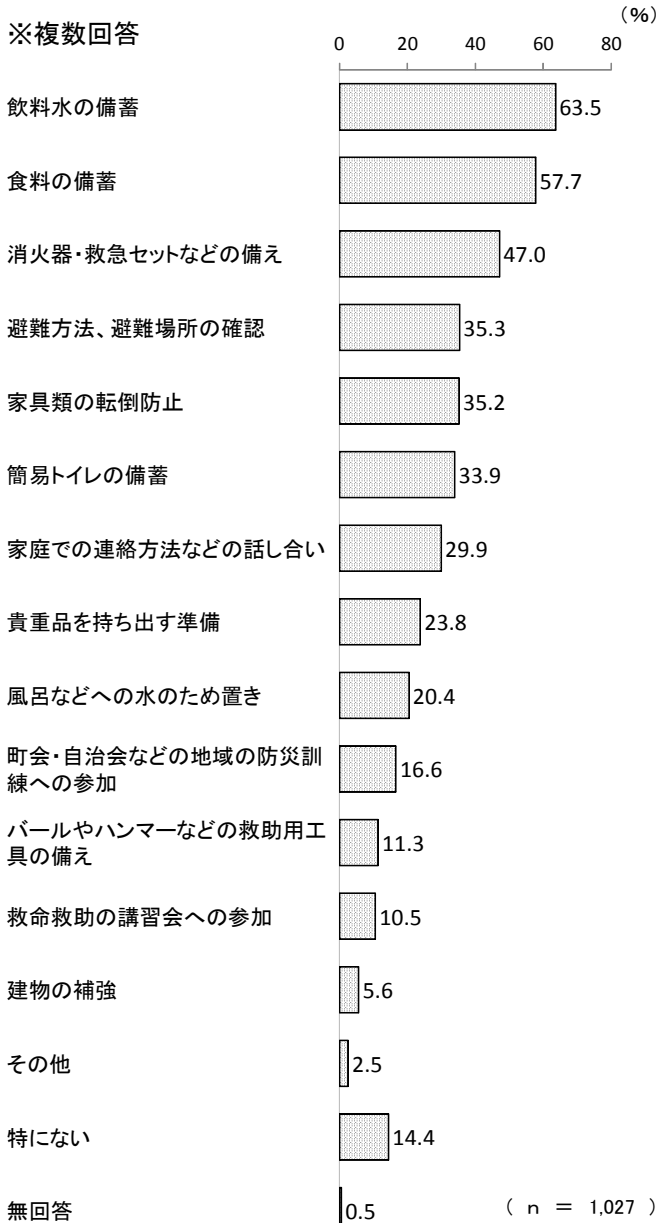


## 2 防災対策

### ■家庭での災害に対する備え

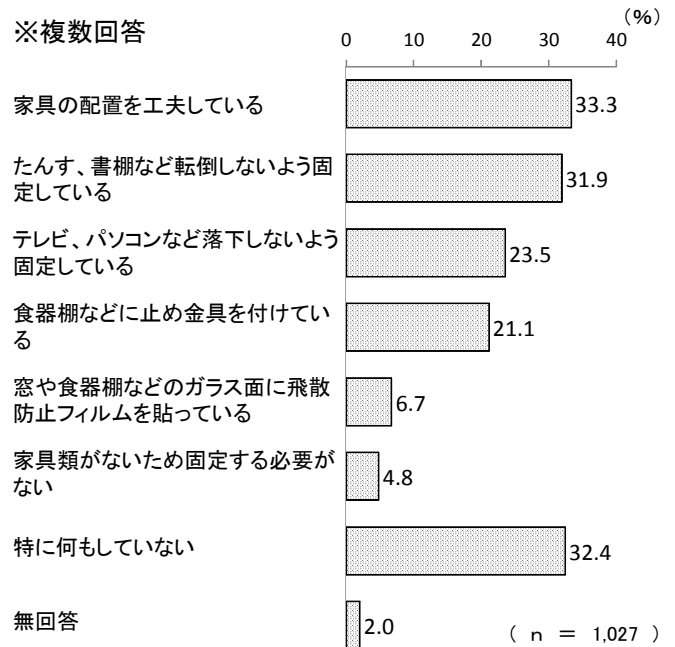
「飲料水の備蓄」(63.5%)が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(57.7%)、「消火器・救急セットなどの備え」(47.0%)、「避難方法、避難場所の確認」(35.3%)、「家具類の転倒防止」(35.2%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「風呂などへの水のため置き」は5.1ポイント減少している。一方、「特にない」は4.2ポイント増加している。



### ■家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え

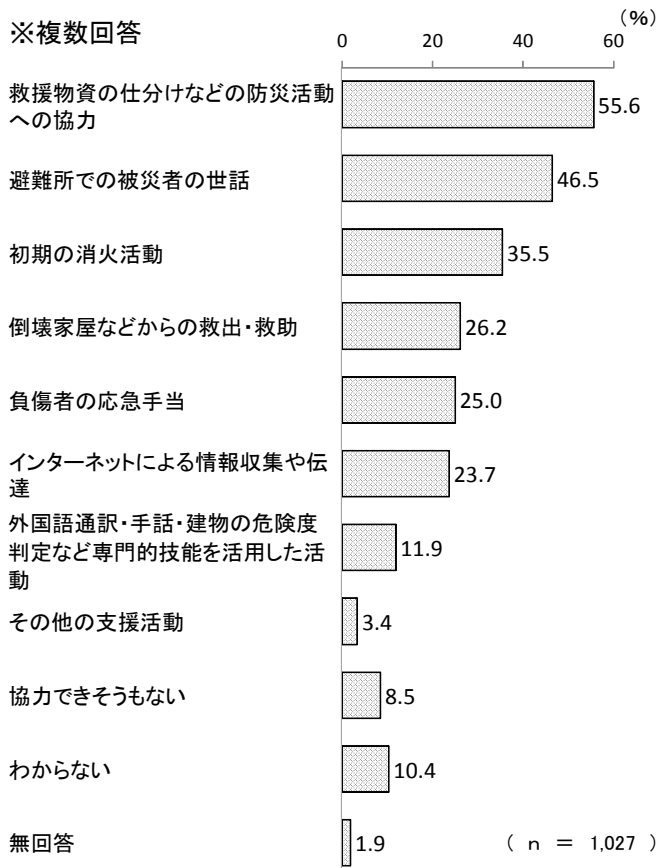
「家具の配置を工夫している」(33.3%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」(31.9%)、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」(23.5%)、「食器棚などに止め金具を付けている」(21.1%)などとなっている。一方、「特に何もしていない」(32.4%)は3割を超えている。



## ■災害時に協力できる活動

「救命物資の仕分けなどの防災活動への協力」(55.6%)が5割台半ばと最も高くなっている。次いで、「避難所での被災者の世話」(46.5%)、「初期の消火活動」(35.5%)などとなっている。

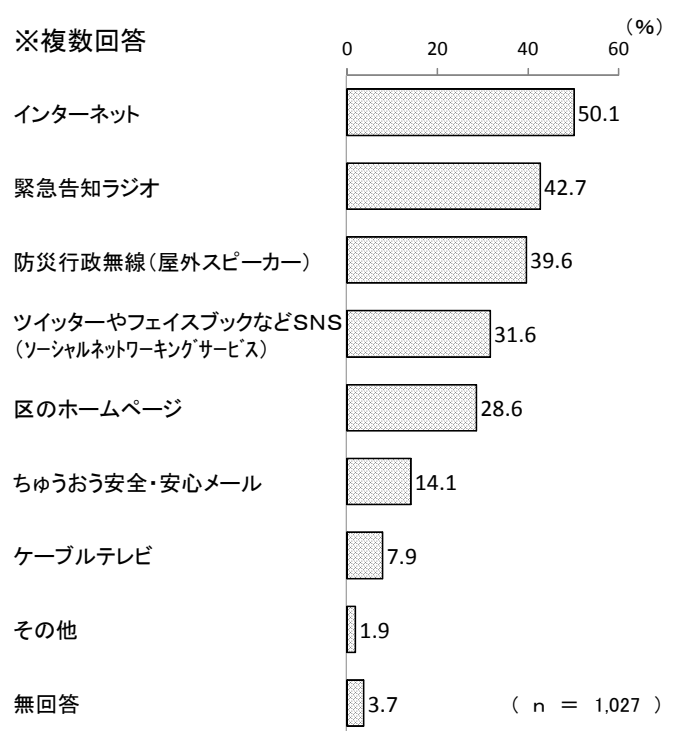
昨年の調査結果と比較すると、「倒壊家具などからの救出・救助」が2.5ポイント増加している。一方、「インターネットによる情報収集や伝達」が2.4ポイント減少している。



## ■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(50.1%)が5割と最も高くなっている。次いで、「緊急告知ラジオ」(42.7%)、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(39.6%)、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(31.6%)、「区のホームページ」(28.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「区のホームページ」が3.2ポイント増加している。一方、「緊急告知ラジオ」が2.9ポイント減少している。

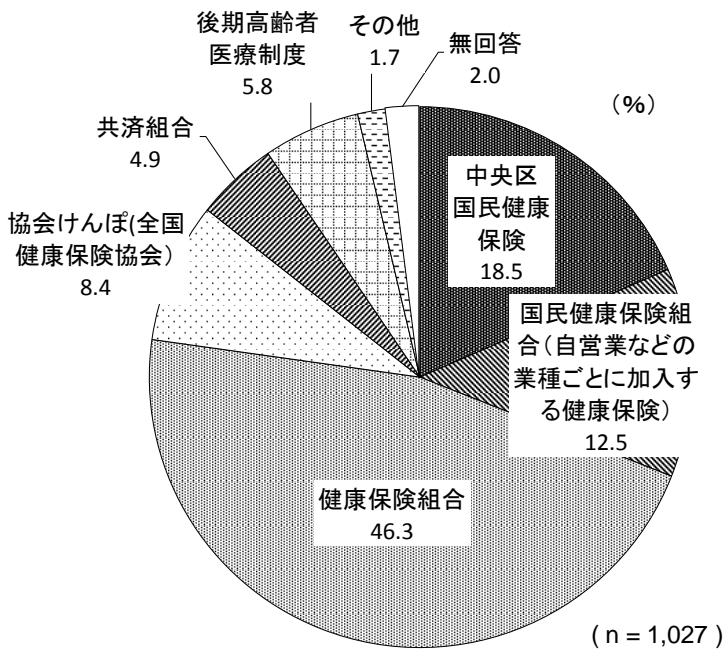


### 3 健康診査

#### ■加入している健康保険

「健康保険組合」(46.3%)が4割半ばで最も高くなっている。次いで、「中央区国民健康保険」(18.5%)、「国民健康保険組合(自営業などの業種ごとに加入する健康保険)」(12.5%)、「協会けんぽ(全国健康保険協会)」(8.4%)などとなっている。

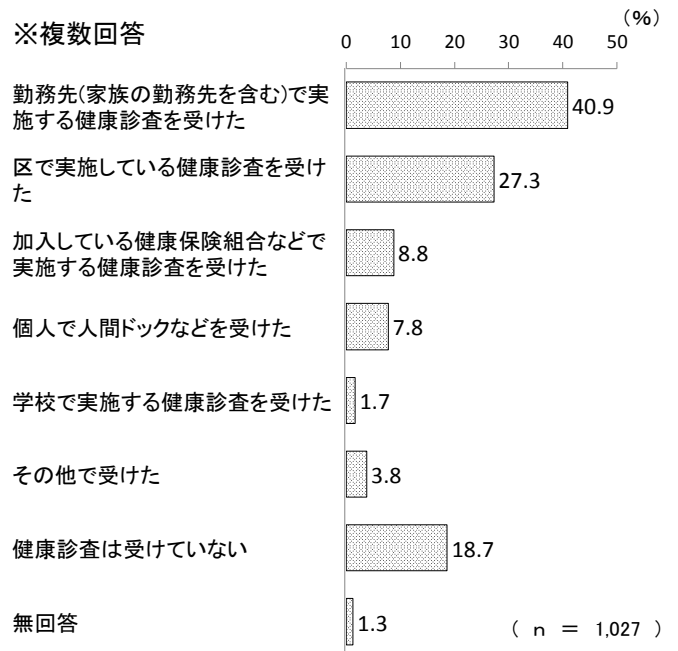
昨年の調査結果と比較すると、「国民健康保険組合(自営業などの業種ごとに加入する健康保険)」は3.3ポイント減少している。



#### ■健康診査の受診状況

「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」(40.9%)が約4割と最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」(27.3%)、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」(8.8%)などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」(18.7%)は2割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「健康診査は受けていない」は2.4ポイント減少している。

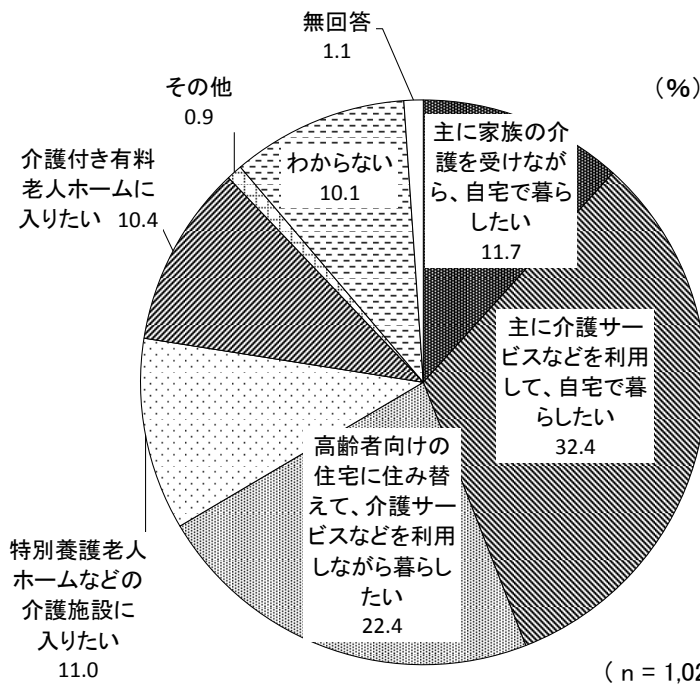


# 4 高齢者施策

## ■要介護時における暮らし方

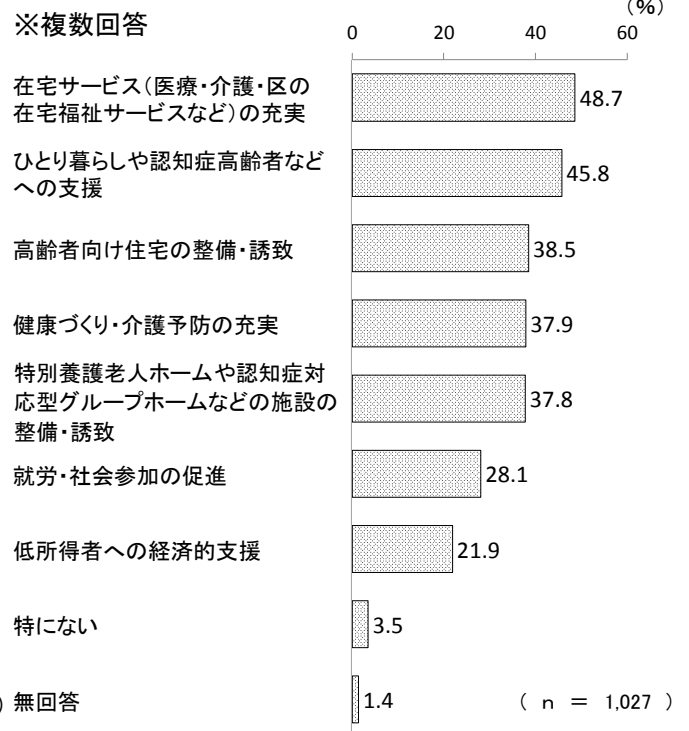
「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(32.4%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(22.4%)、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(11.7%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「介護付き有料老人ホームに入りたい」は1.9ポイント、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」は1.6ポイント、それぞれ増加している。



## ■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」(48.7%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(45.8%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(38.5%)、「健康づくり・介護予防の充実」(37.9%)「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(37.8%)、などとなっている。

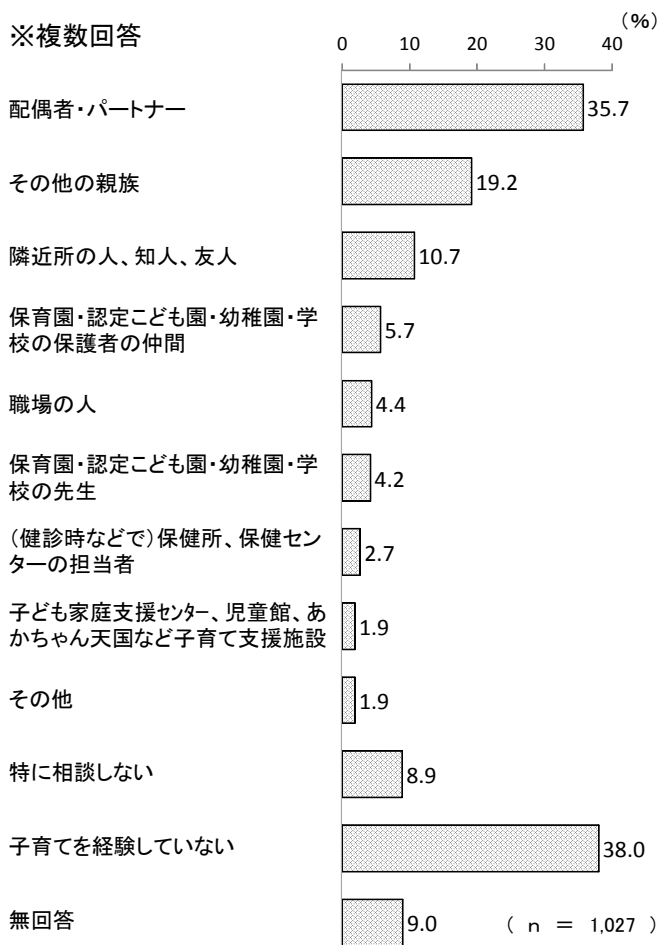


## 5 子育て支援

### ■ 子育てに関する悩みの相談

「配偶者・パートナー」(35.7%)が3割台半ばと最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(19.2%)、「隣近所の人、知人、友人」(10.7%)、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」(5.7%)などとなっている。

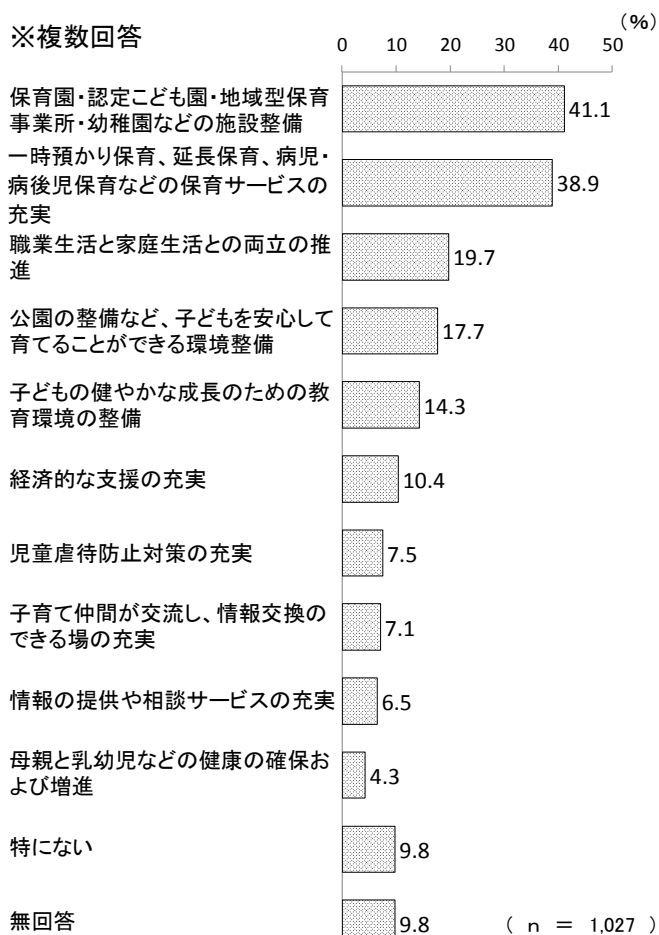
昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。



### ■ 区に望む子育て支援策

「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(41.1%)が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの保育サービスの充実」(38.9%)、「職業生活と家庭生活との両立の推進」(19.7%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(17.7%)などとなっている。

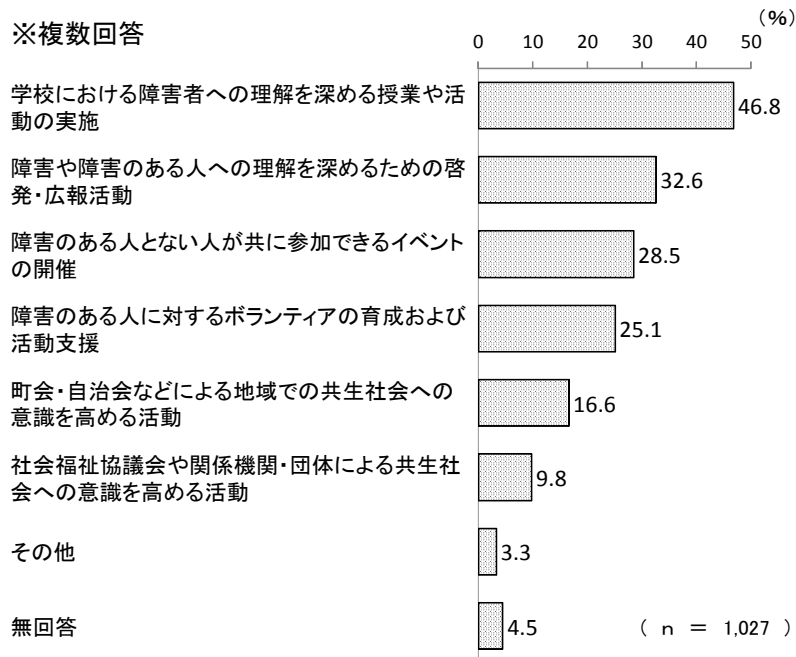
昨年の調査結果と比較すると、「公園の設備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」は5.4ポイント、「職業生活と家庭生活との両立の推進」は5.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの保育サービスの充実」は3.6ポイント減少している。



## 6 障害者福祉

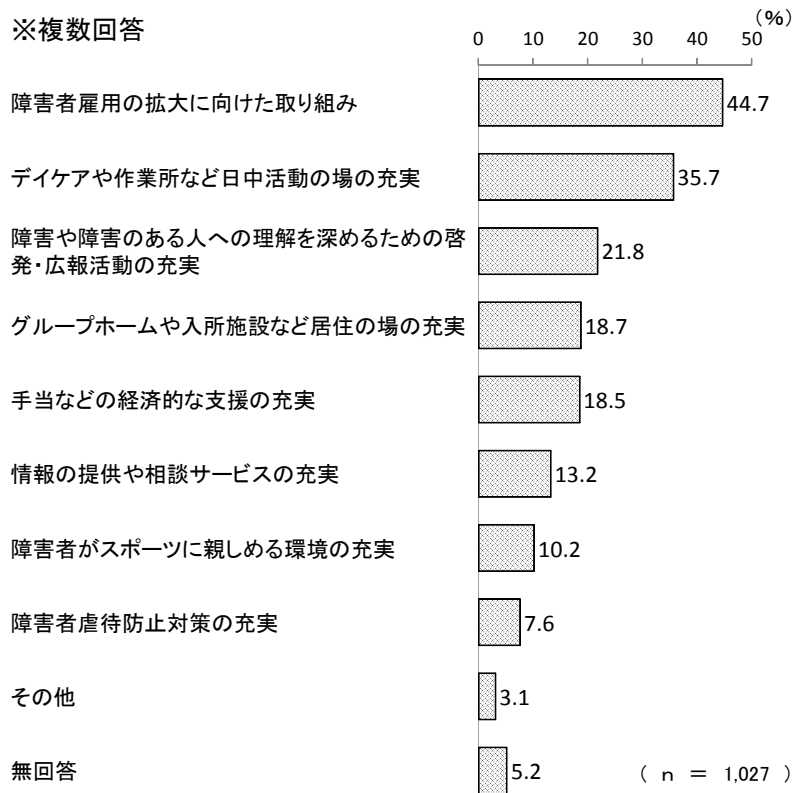
### ■ 共生社会の実現に必要なと思うこと

「学校における障害者への理解を深める授業や活動の実施」(46.8%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「障害や障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動」(32.6%)、「障害のある人ない人が共に参加できるイベントの開催」(28.5%)などとなっている。



### ■ 区に望む障害者支援施策

「障害者雇用の拡大に向けた取り組み」(44.7%)が4割台半ばと最も高くなっている。次いで、「デイケアや作業所など日中活動の場の充実」(35.7%)、「障害や障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動の充実」(21.8%)などとなっている。

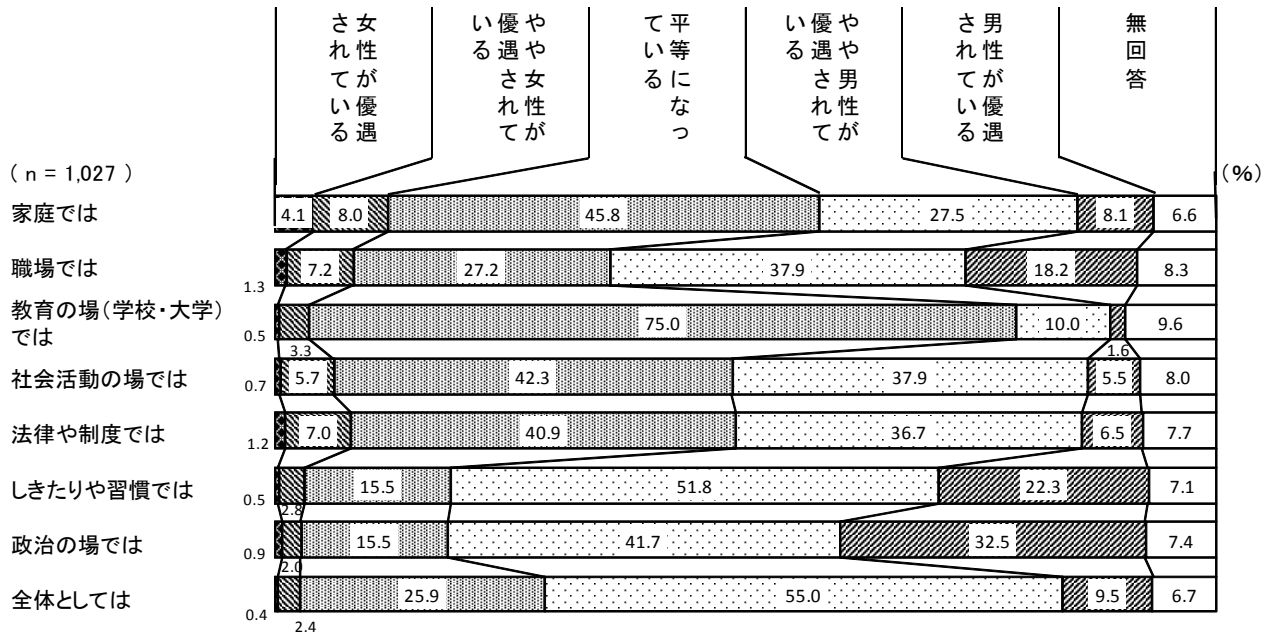




# 7 男女共同参画社会

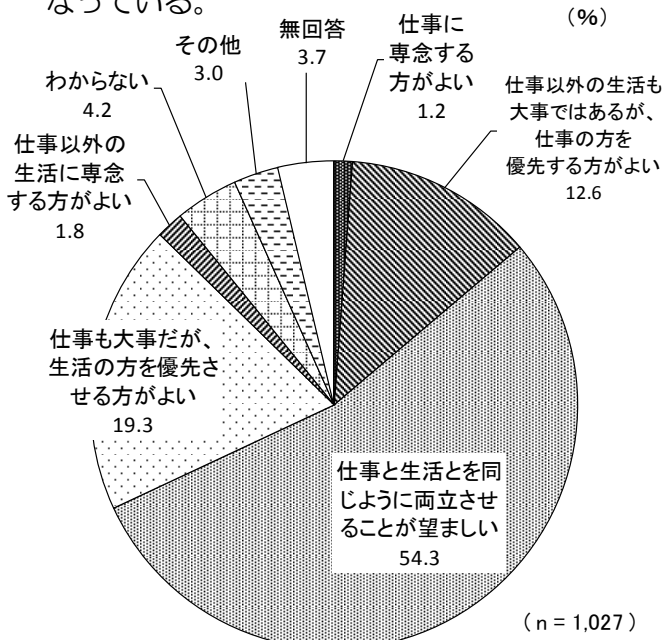
## ■男女の地位の平等感

「平等になっている」と感じるのは、“教育の場（学校・大学）では”（75.0%）が7割台半ばと最も高く、次いで、“家庭では”（45.8%）となっている。『男性が優遇されている』（「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計）と感じるのは、“政治の場では”（74.2%）と“しきたりや習慣では”（74.1%）でそれぞれ7割台半ばと高くなっている。



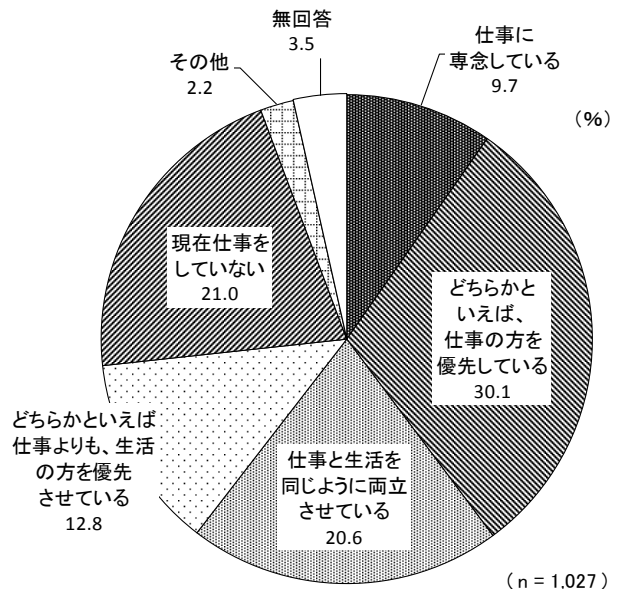
## ■ワーク・ライフ・バランスについての考え方

「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」（54.3%）が5割台半ばと最も高くなっている。次いで、「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」（19.3%）となっている。



## ■望ましい位置づけに対しての現在の状況

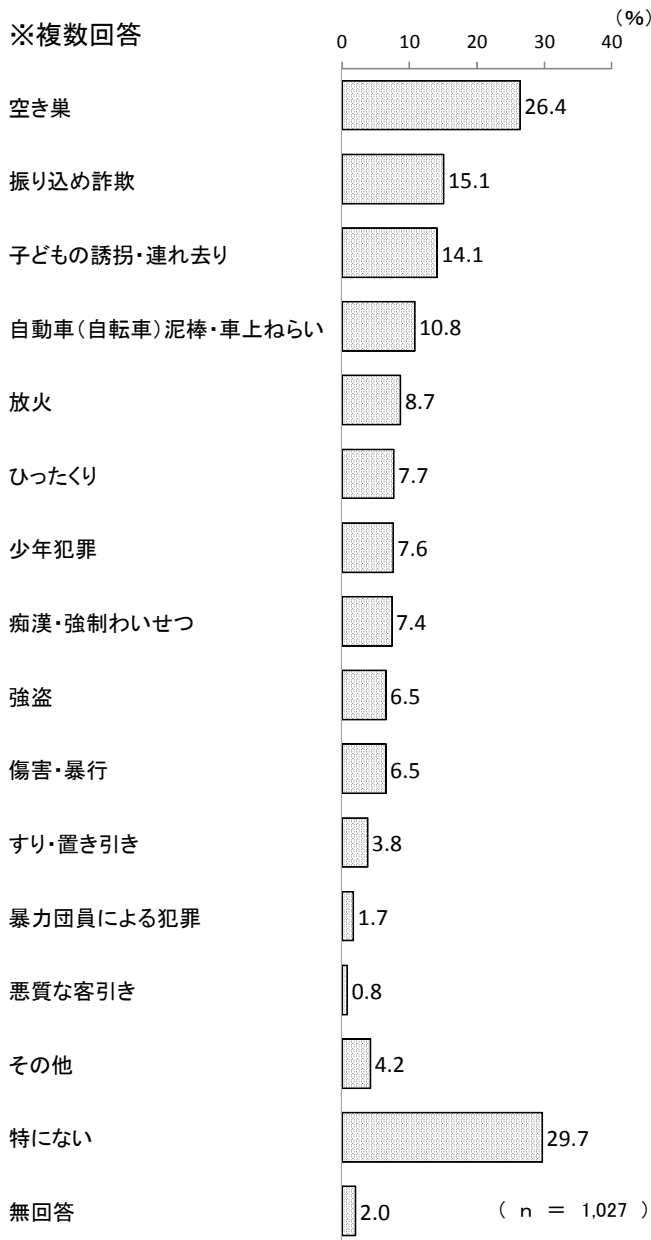
「どちらかといえば、仕事の方を優先している」（30.1%）が3割と最も高くなっている。次いで、「現在仕事をしていない」（21.0%）、「仕事と生活を同じように両立させている」（20.6%）などとなっている。



## 8 防犯対策

### ■ 不安に感じる犯罪

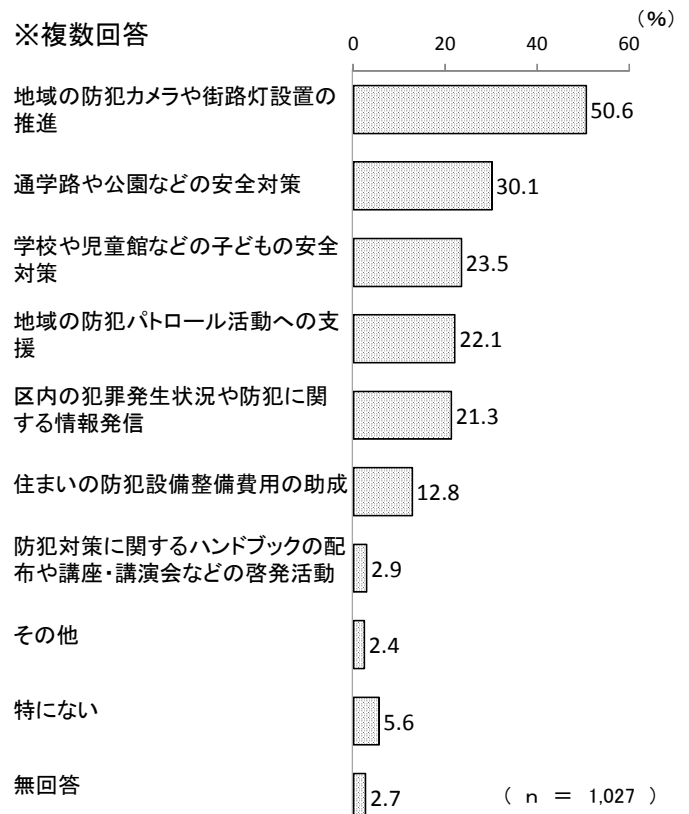
「空き巣」(26.4%)が2割台半ばと最も高くなっている。次いで、「振り込め詐欺」(15.1%)、「子どもの誘拐・連れ去り」(14.1%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(10.8%)、「放火」(8.7%)などとなっている。一方、「特にない」(29.7%)は3割となっている。



\*「悪質な客引き」と「特にない」は今年度から選択肢とした。

### ■ 区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(50.6%)が約5割と最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」(30.1%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(23.5%)、「地域の防犯パトロール活動への支援」(22.1%)などとなっている。

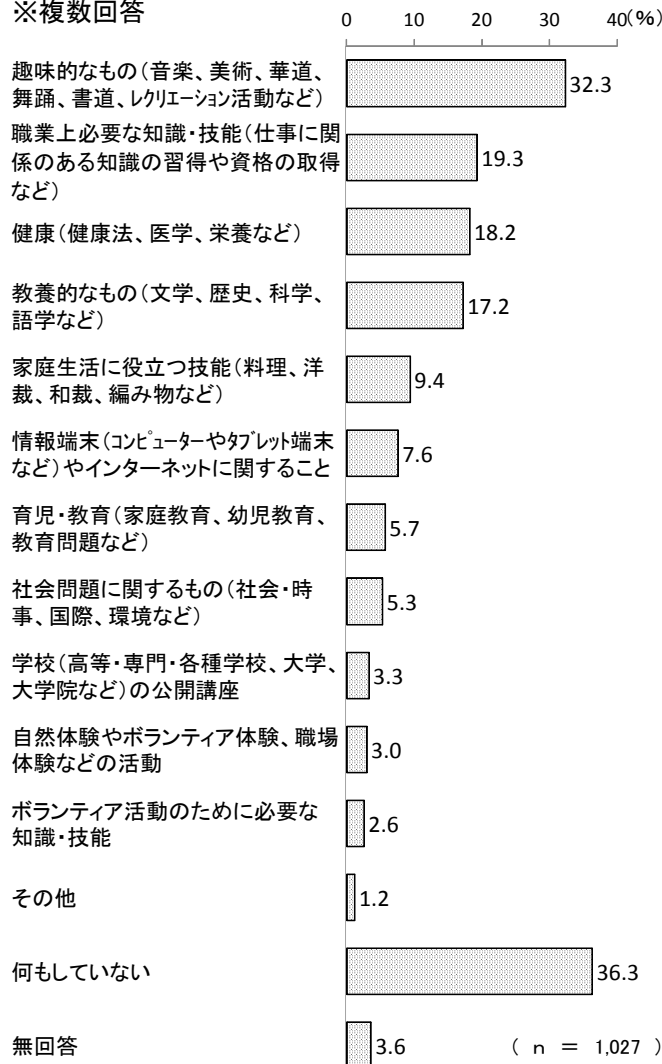


## 9 生涯学習

### ■過去1年間に行った趣味や自己啓発

「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」（32.3%）が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」（19.3%）、「健康（健康法、医学、栄養など）」（18.2%）、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」（17.2%）などとなっている。

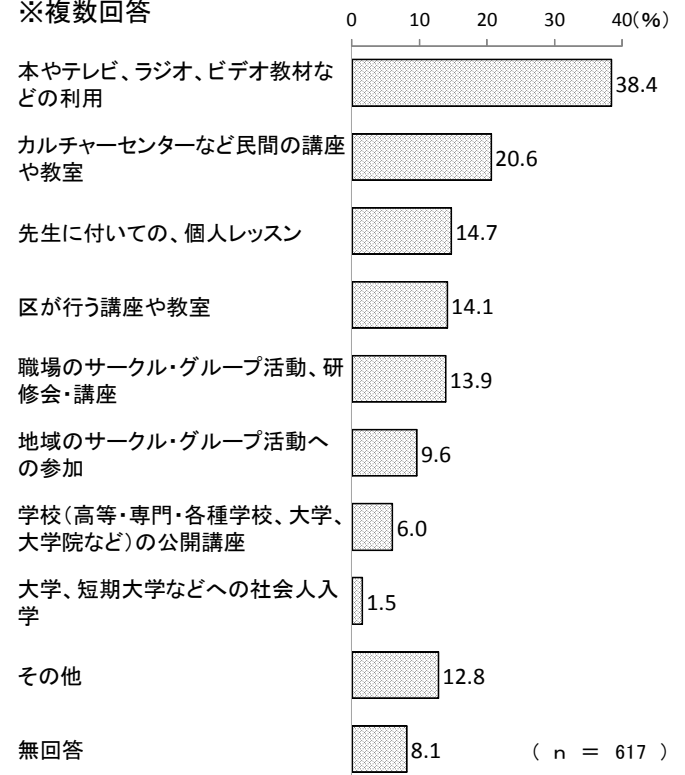
※複数回答



### ■趣味や自己啓発の活動場所や活動状況

過去1年間にいずれかの趣味や自己啓発を行っているという回答した方の活動場所や活動状況は、「本やテレビ、ラジオ、ビデオ教材などの利用」（38.4%）が4割近くと最も高くなっている。次いで、「カルチャーセンターなど民間の講座や教室」（20.6%）、「先生に付いての、個人レッスン」（14.7%）、「区が行う講座や教室」（14.1%）などとなっている。

※複数回答

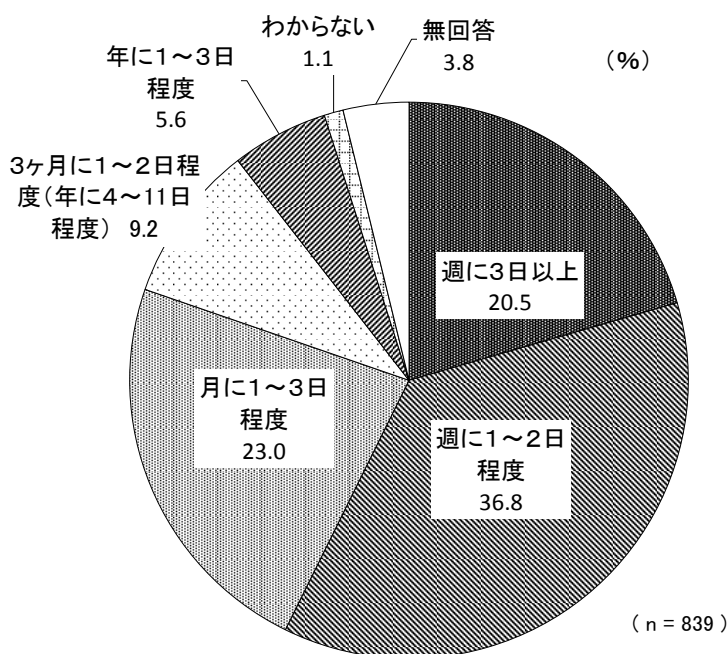


# 10 スポーツ

## ■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

過去1年間にいずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方のスポーツや運動の頻度は、「週に1～2日程度」(36.8%)が4割近くと最も高くなっている。次いで、「月に1～3日程度」(23.0%)、「週に3日以上」(20.5%)、「3ヶ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(9.2%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「週に1～2日程度」は4.6ポイント増加している。

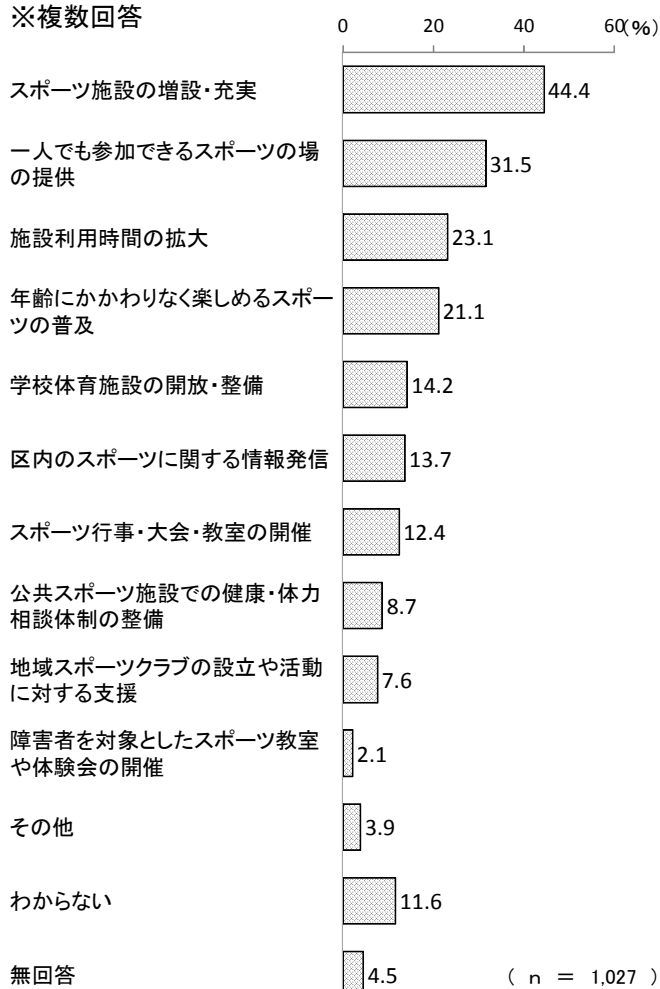


## ■スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

「スポーツ施設の増設・充実」(44.4%)が4割台半ばと最も高くなっている。次いで、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(31.5%)、「施設利用時間の拡大」(23.1%)、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」(21.1%)、「学校体育施設の開放・整備」(14.2%)、「区内のスポーツに関する情報発信」(13.7%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

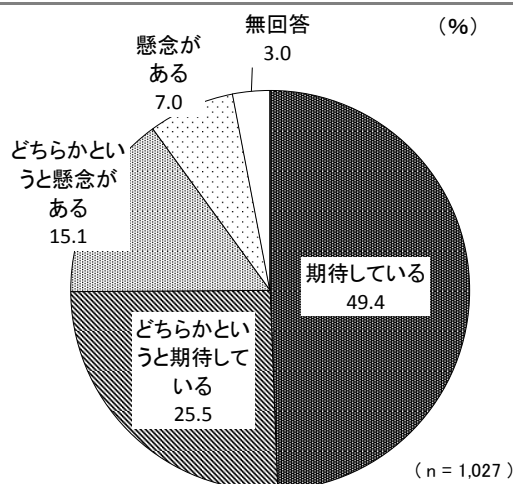
※複数回答



# 11 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

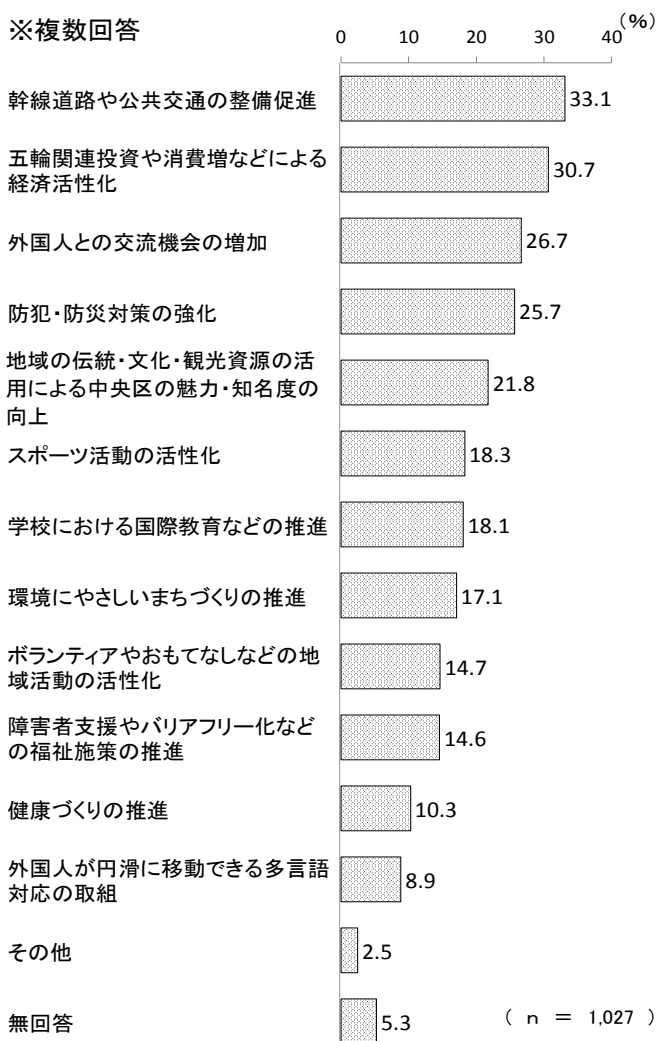
## ■大会への思い

「期待している」(49.4%) が約 5 割と最も高くなっている。次いで、「どちらかという期待している」(25.5%)、「どちらかという懸念がある」(15.1%) などとなっている。『大会への期待』(「期待している」と「どちらかという期待している」の合計) が 74.9%と 7 割台半ばとなっている。



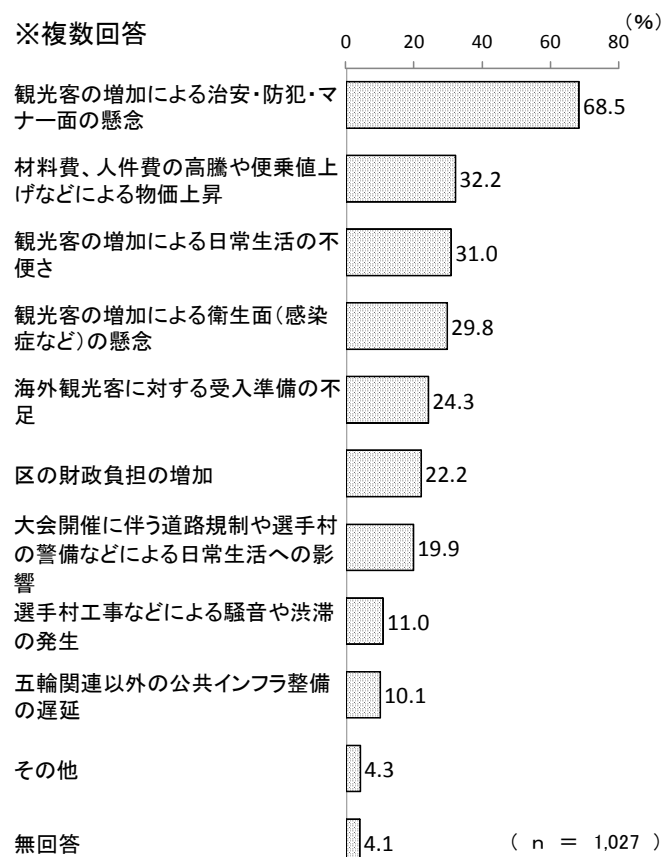
## ■大会の開催に伴い期待していること

「幹線道路や公共交通の整備促進(道路の整備・拡幅、基幹的交通システム導入など)」(33.1%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「五輪関連投資や消費増などによる経済活性化」(30.7%)、「外国人との交流機会の増加」(26.7%)、「防犯・防災対策の強化」(25.7%) などとなっている。



## ■大会の開催に伴い懸念していること

「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」(68.5%)が7割近くと最も高くなっている。次いで、「材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇」(32.2%)、「観光客の増加による日常生活の不便さ(交通混雑、買物不便など)」(31.0%)、「観光客の増加による衛生面(感染症など)の懸念」(29.8%) などとなっている。

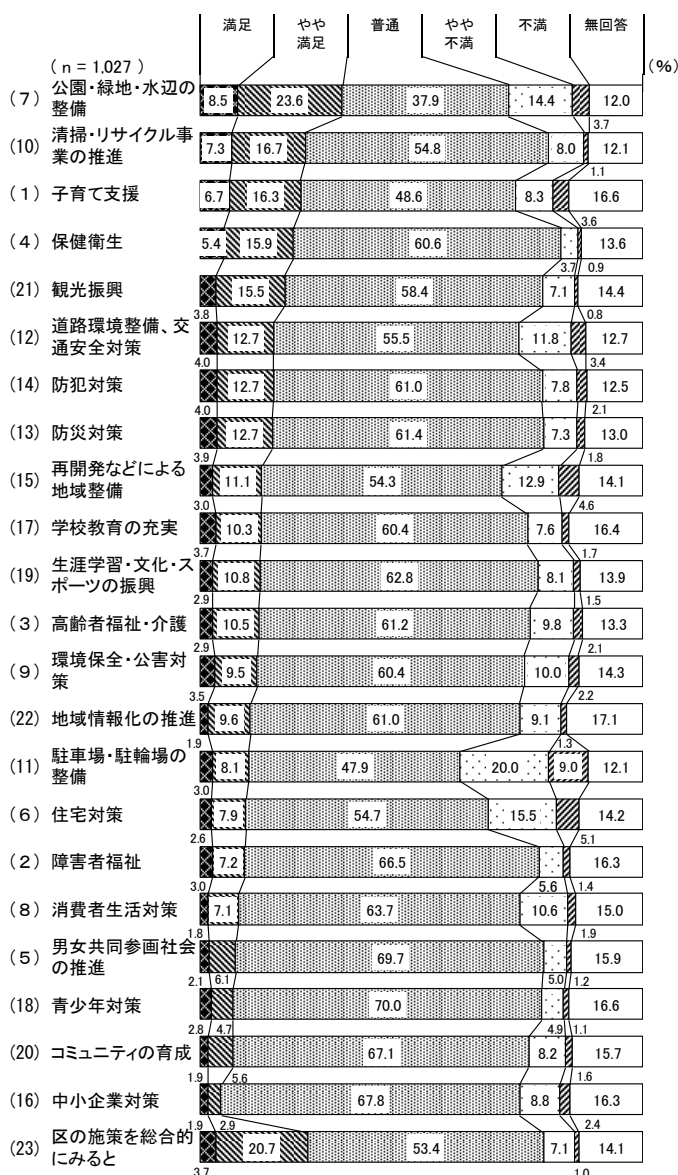


# 12 施策の要望・評価

## ■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

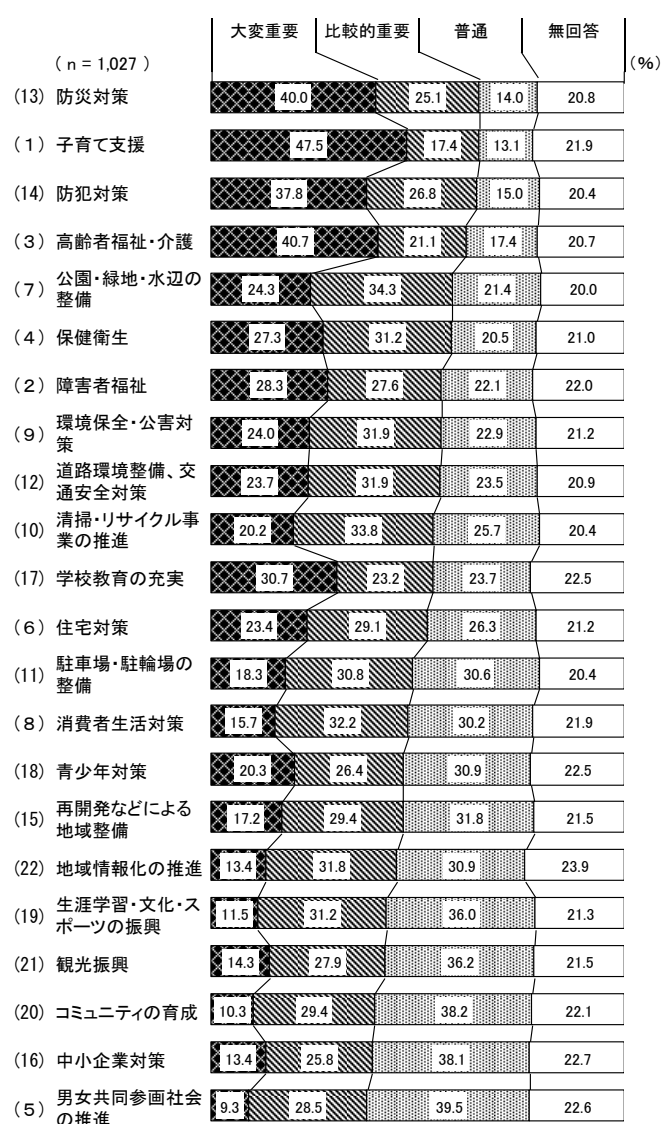
- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (32.1%)  
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (24.0%)  
 ③子育て支援 (23.0%)  
 ④保健衛生 (21.3%)  
 ⑤観光振興 (19.3%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (29.0%)  
 ②住宅対策 (20.6%)  
 ③公園・緑地・水辺の整備 (18.1%)  
 ④再開発などによる地域整備 (17.5%)  
 ⑤道路環境整備、交通安全対策 (15.2%)



## ■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①防災対策 (65.1%)  
 ②子育て支援 (64.9%)  
 ③防犯対策 (64.6%)  
 ④高齢者福祉・介護 (61.8%)  
 ⑤公園・緑地・水辺の整備 (58.6%)
- 下位 ①男女共同参画社会の推進 (37.8%)  
 ②中小企業対策 (39.2%)  
 ③コミュニティの育成 (39.7%)  
 ④観光振興 (42.2%)  
 ⑤生涯学習・文化・スポーツの振興 (42.7%)



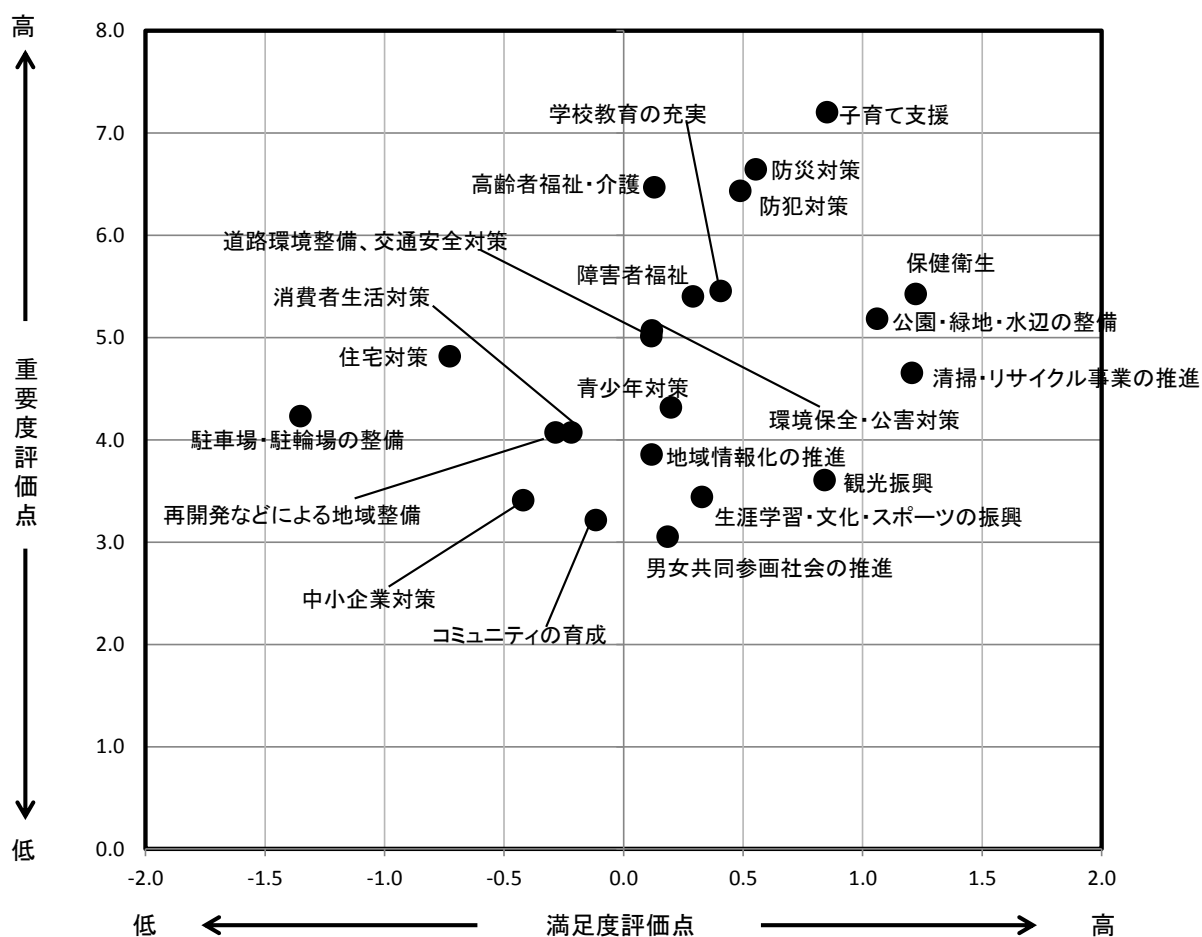
## ■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\begin{aligned} \text{満足度評価点} &= (\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \\ &\quad \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点}) \\ &\quad \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{重要度評価点} &= (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の} \\ &\quad \text{回答者数} \times 0 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

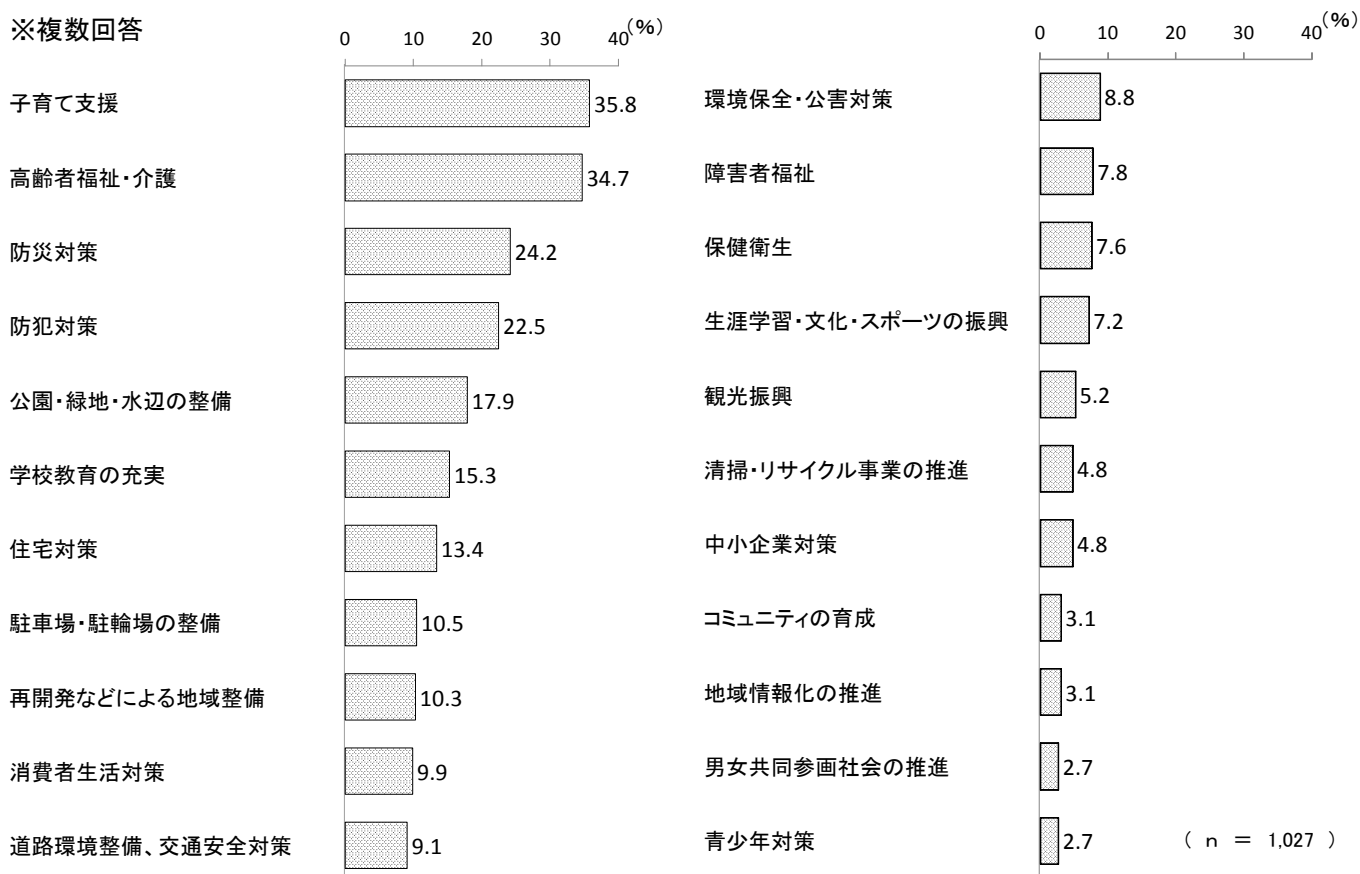
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的居民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



## ■ 区の施策への要望

「子育て支援」(35.8%)、が3割半ばで最も高く、次いで「高齢者福祉・介護」(34.7%)、「防災対策」(24.2%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「防犯対策」は4.2ポイント増加している。一方、「高齢者・介護」は3.5ポイント減少している。



## 第45回 中央区政世論調査

平成27年9月

発行 中央区企画部広報課  
中央区築地1丁目1番1号  
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社 市川環境アセス  
葛飾区水元6丁目1番12号  
03(6672)4956

刊行物登録番号  
27-046